

## 笠岡市学校施設耐震化事業について

### 1. 耐震化の推進

学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす場であると同時に、災害時における各地域の避難場所としての役割を担っており、その安全性の確保は重要であります。

このため、笠岡市では、学校施設の耐震化について、重要施策として耐震化を推進しています。

### 2. 笠岡市の現状及び今後の対応

学校施設の多くが、昭和40年代から50年代にかけて建設されており、全体の約半数（48％）が今後耐震化の検討を要する建物となっています。そのため、平成17年度から平成19年度の3箇年で、全ての対象建築物（44棟）の優先度調査を実施し、平成19年度より6箇年で2次診断を完了させました。

2次診断の結果を受け、優先順位を付けて平成20年度から順次耐震化に取り組み、平成27年度をもって耐震補強工事を完了させる計画でありましたが、平成27年度着工分において工事の期間延長が生じたため、平成28年度前半での完了を目途に現在取り組んでいます。

平成28年4月1日現在、笠岡市の学校施設耐震化率は、96.1％です。

※対象建物は文部科学省基準（非木造で2階建て又は200㎡以上）による。